

テーマ：10年後のワークプレイスとは？

変幻自在の オフィス

～ニーズに応じ、環境を変えていく～



コロナ禍での経験をもとに、10年後のオフィスを考えた。

利用者のニーズに合わせカスタマイズされる

例：リラックスできるオフィス要求「最近自宅作業ばかりだったので、オフィスでリラックスしながらディスカッションしたい。」

↓
自然豊かな映像が壁に映し出され、リラックスした状況でディスカッションできる空間に。



シェア空間、貸し出しの場

貸し出しの場、シェア空間であるので都会、郊外にかかわらず遍在している。通勤時間の短縮、経費の節約につながる。



社員をつなぐミーティングの場

オンライン化が進む中、直接人が会い、交流を楽しみに仕事ができる場となる。コミュニケーションの活性化、ストレスの軽減へつながる。



利用順序

オフィスを
スマホで予
約

利用者の身体
的、業務的
要求をワーク
プレイスに発信

AIが利用者の
要求に合わせ
オフィスをカ
スタマイズ

メリット

雇用拡大
コミュニケーションの活性化
ストレス軽減

今後の課題

ワークプレイス対応技術の具体化

パナソニック ビジネスサービス(株)
工学部班 (班員: 吉岡 三原 上原 川本 堀本 大西)

10年後のワークプレースの形とは？

9:00 出勤

スマートウォッチの活用

- ・出勤時刻の記録
- ・健康状態（体温・血圧・脈拍等）の管理
- ・電子マネーによる経費精算

18:00 退勤

スマートウォッチの活用

- ・退勤時刻の記録
- ・労働時間の確認
- ・健康状態（疲労具合）の管理

9:30 会議の準備

拡張現実（AR）の技術活用

製品の試作品の可視化

⇒会議の円滑化



14:00 営業と人事評価

仮想現実（VR）の技術活用

VRメガネによるVR空間での営業

⇒自動翻訳機能の活用

ブロックチェーンの活用

受注契約が成立

⇒人事評価ポイントの加算

人事評価はブロックチェーンにより各支社で分散管理



マズローの欲求を満たせるオフィス



欠如欲求を満たし、社員の成長に繋げる

12:00 昼休み

リフレッシュスペースの充実

- ・足湯やマッサージチェアを完備
- ・日光を感じられる作り
- ・自然の風が通り抜ける大きな窓



10:00 会議

拡張現実（AR）の技術活用

ARメガネにより会談相手の

情報を頭上に表示



Raspberry Pi, カードリーダー, タッチパネルから構成されるシステムにより勤務状態管理の実現性を検証